

症例4

70 歳代, 女性, 右耳下腺.

臨床情報: 7年前より右耳下部の腫脹を繰り返し, 5~6年前には顔面神経麻痺を生じた. 原因精査のため来院し(来院時の自覚症状は腫脹のみ), 穿刺吸引細胞診が施行された.

画像所見: 耳下腺にMRIで22mm大の内部不均一な高信号を呈する腫瘍が認められ, 超音波にて病変の境界は明瞭であった.

標本作製方法: 直接塗抹法

診断区分【ミラノシステム】

1. 不適正
2. 非腫瘍性
3. 意義不明な異型 (AUS)
4. 良性腫瘍
5. 良悪性不明な唾液腺腫瘍 (SUMP)
6. 悪性の疑い
7. 悪性

推定診断

1. 多形腺腫
2. 基底細胞腺腫 / 腺癌
3. 腺様嚢胞癌
4. 上皮筋上皮癌
5. 多型腺癌